

一經 過 記

既報七月五日交渉決裂後會社並ニ總同盟及爭議團ニ於テハ
互ニ腹ノ據リ合ヒニ努メ何ヲ積極的行動ニ出テサリシカ時
日ノ經過ト共ニ爭議團側ハ本爭議ニ對スル見透シニ確信ナ
ク焦慮シ始メ爭議團員中ノ最年長者タル藤藤鶴市ハ密ニ人
ヲ介シ會社側監査役坂倉幸利ニ復取希望ノ意ヲ伝ヘ又遠藤
松村、長島ノ由里組ハ會社側奈良工場長ニ解決促進ノ交渉
ヲ行フ等並ニ不統制ヲ暴露スルニ至レリ。會社側ハ爭議團
側、不統制ニ乘シ一舉解決ヲ企圖シ奈良工場長ハ七月二十
日午前八時大森ニ大森三ノニニ五東洋産科工場ニ遠藤松村
長島ノ三名ヲ招致シ復取ノ意表ヲ確ムルト共ニ皇道會トノ
絶縁ヲ条件ニ爭議費用ノ負担ヲ會社ニ於テ負担スルヲ以テ
善処セラレタリト述ヘタルニ

遠藤外ニ名ハ一應之ヲ謀トシ高費用ノ上英ニ関シテハ後訓提
議ノ上交渉シタリト述ヘ午後六時ノ再會見ヲ約シ會見ヲ終
レリ

今日午後六時今所ニ於テ會見、遠藤外ニ名ヨリ爭議費用ハ
百圓ヲ要求、會社側ハニ百圓ヲ固守シ交渉纏ラス再會見ヲ
約シ會見ヲ終レリ

七月二十四日午後七時遠藤外ニ名ハ前記東洋産科工場ヲ訪問
奈良工場長ト會見

爭議費用ニ百五十圓及今後ノ通勤パス代其他外遣トシテニ
百圓計六百五十圓ヲ要求高解決ニ際シテハ相当ノ犠牲者ヲ
覚悟シ居レリト軟化ノ色ヲ見セタルニ對シ、
奈良工場長ハ、會社カ全負復取ヲ許スル迄ハ自分ニ於テ
極力諸君ノ將來ヲ慮リテ重役ヲ動かシタル最大ノ讓歩案ナ
ルハキモ、ニシテ皇道會ト絶縁ヲ条件ニ爭議費用トシテニ